

平成26年1月

アンケート対象者 各位

男女共同参画推進室長

末松 美知子

男女共同参画に関するアンケートについて（依頼）

群馬大学では、教職員が出産、育児、介護などのライフイベントと仕事を両立するための職場環境の改善、それに向けた学内の意識改革・情報発信を目的に、平成25年8月1日男女共同参画推進室を設置しました。

子育てや介護などの問題は、女性のみならず男性の参画をも視野に入れたサポート体制を整え、職場環境の改善を考えていく必要があります。

今回のアンケートでは、研究者を対象としてライフイベントに関連する事項を調査し、群馬大学の職場環境の改善に必要なニーズを探ることを目的としています。

アンケート結果を踏まえて、教職員、研究に携わる非常勤職員及び大学院生の皆様に役立つシステム構築や体制作り、活気あるプロジェクトを検討していきたいと思っております。

ぜひ忌憚のないご意見をおきかせいただきますようお願い申し上げます。

アンケートは、回答番号に○をつける形式です。それぞれ設問に従い規定の数の○を付けて回答してください。その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。

ご記入は黒字の筆記用具にてはっきりと分かりやすくご記入ください。すべての記入が終わりましたら、記入もれや間違いがないかどうかご確認ください。

また、すべてのアンケートにお答えいただきましたら平成26年1月17日（金）までに、男女共同参画推進室へお戻しください。

なお、皆様からいただいた情報は、この調書のみで使用し、個人情報の管理には細心の注意を持って取り扱います。

【アンケート対象者】

1. 本学教職員のうち下記に掲げる者

教授・准教授・講師・助教・助手・医員（シニアレジデントを含む）・臨床研修医・研究員（非常勤）

2. 本学大学院生

問1 性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

問2 2013年4月1日時点での年齢をお答えください。

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60歳以上

問3 現在の職名等をお答えください。

1. 教授 2. 准教授 3. 講師 4. 助教
5. 助手 6. 博士課程・博士後期課程
7. 修士課程・博士前期課程・専門職学位課程
8. 医員（シニアレジデントを含む）または臨床研修医
9. 研究員（非常勤） 10. 技術系職員
11. その他（その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。）

()

問4 所属部局等をお答えください。

1. 教育学部・教育学研究科 2. 社会情報学部・社会情報学研究科
3. 医学系研究科（基礎系） 4. 医学系研究科（臨床系）・附属病院
5. 理工学研究院・理工学府 6. 生体調節研究所
7. 保健学研究科 8. その他の教育研究部局等

問5 専門分野をお答えください。

1. 人文・社会科学系 2. 理学・工学系
3. 医学・薬学・保健系
4. その他（その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。）

()

問6 群馬大学の男女共同参画推進室を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問7 群馬大学の男女共同参画基本計画を知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問8 今年度、「女性研究者研究活動支援事業」に群馬大学のプロジェクト「繭玉プラン」が採
択されたことを知っていますか。

1. はい 2. いいえ

問9 お子さんはいらっしゃいますか。

1. いる 2. いない

問10 現在ないし将来において、仕事と育児の両立に不安を感じることがありますか。

1. ある 2. 少しある 3. ない
4. あまりない 5. わからない

問11 キャンパス内の育児支援システムや施設として何が必要と思いますか。(複数回答可)

1. 保育所 2. 病児保育 3. 学童保育
4. ベビーシッター派遣 5. 授乳できる休憩室
6. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問12 育児と仕事を両立するためのシステムとして何が必要と思いますか。(複数回答可)

1. 短時間勤務の可能なシステム 2. フレックスタイム制
3. 研究補助者制度 4. 保育所や病児保育などの保育サポート
5. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問13 育児と仕事(研究)を両立するために誰の理解が必要と思いますか。(複数回答可)

1. 両親 2. パートナー 3. 上司 4. 同僚
5. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問14 これまでに介護の経験がありますか。

1. ある 2. ない

問15 現在ないし将来的に介護に関する不安がありますか。

1. ある 2. 少しある 3. ない
4. あまりない 5. わからない

問16 介護の問題に直面した際に（将来を含め）、群馬大学において仕事を継続するために利用したいシステム、あるいは必要と思うことは何ですか。（複数回答可）

1. 短時間勤務の可能なシステム
2. フレックスタイム制
3. 研究補助者制度
4. 利用しやすい介護施設や病院などの施設紹介・斡旋
5. その他（その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。）

()

問17 介護と仕事（研究）を両立するために誰の理解が必要と思いますか。（複数回答可）

1. 両親
2. パートナー
3. 上司
4. 同僚
5. その他（その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。）

()

問18 群馬大学における職場環境において、性別による処遇の差があると思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない

「1、2」とお答えの方は問19へ、「3、4、5」の方は問20へ。

問19 どのような面で性別による処遇の差があると思いますか。（複数回答可）

1. 採用
2. 昇進・昇給
3. 研究費の配分
4. 業績評価
5. 雑務の負担
6. その他（その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。）

()

問20 あなたの専門分野・所属学会において、性別による処遇の差があると思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない

「1、2」とお答えの方は問21へ、「3、4、5」の方は問22へ。

問21 どのような面で性別による処遇の差があると思いますか。(複数回答可)

1. 採用
2. 昇進・昇給
3. 業績評価
4. 研修の機会
5. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問22 群馬大学において、女性の育児・介護休業取得やその後の育児への積極的参加に困難があると思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない

問23 群馬大学において、男性の育児・介護休業取得やその後の育児への積極的参加に困難があると思いますか。

1. 思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない

問24 第4期科学技術基本計画では女性研究者の採用目標25%とされていますが、群馬大学においては14.9%と大きく下回っています。主な理由として考えられるものを3つ選んでください。

1. 教育環境
2. 男女の社会的分業
3. 社会の偏見
4. 男女の適性の差
5. 女性の意識
6. 男性の意識
7. 労働時間が長い
8. 将来像が不透明
9. 女性のロールモデルがない
10. 家庭と仕事の両立が困難
11. 育児期間後の復帰が困難
12. 採用する側の意識
13. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問25 男女共同参画推進室では各キャンパスに交流スペース「まゆだま広場」というスペースを設けます。どのようなことを期待しますか。(複数回答可)

1. 育児に関する情報が得られる
2. 介護に関する情報が得られる
3. ほかの教職員との交流ができる
4. 育児や介護の相談窓口
5. 保育ができる場所
6. メンターの紹介
7. 研究補助者の紹介
8. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問26 男女共同参画推進室の活動にどのような成果を期待しますか。(複数回答可、3つまで)

1. 女性研究者の積極的登用・昇進しやすい環境
2. 研究補助員・実験補助員等の雇用による仕事の効率化
3. 研究費等の支援
4. 育児休業者・介護休業者を抱える職場への人的・財政的サポート
5. 柔軟な勤務体制を含む制度構築
6. 保育環境の整備・充実
7. 育児・介護に関する相談体制
8. 学内教職員や学外への啓発
9. 育児や介護の情報発信
10. 女性研究者のネットワーク構築
11. ロールモデル提示などによる女子学生への啓発活動
12. メンターの紹介
13. 特に期待しない
14. その他(その他とお答えになった場合は、その具体的内容をお答えください。)

()

問27 群馬大学における仕事を続けたい(仕事に就きたい)と思いますか。

1. そう思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. 思わない
5. わからない

問28 ご自身が群馬大学での仕事を続けるにあたって(就くにあたって)、不安なこと、改善を望むことは何ですか。(複数回答可)

1. 経済的な面
2. 将来の身分など
3. 自身のキャリア・仕事内容
4. 職場の人間関係
5. 職場環境・通勤など
6. 育児や介護などライフイベントとの両立
7. その他(上記回答の詳細も含め具体的にご記載ください。)

()

問29 その他男女共同参画推進室の活動へ期待すること等、ご意見などご自由に記入ください。
(自由記載)

()

男女共同参画推進室員名簿

末 松 美知子	室長・社会情報学部教授
永 井 弥 生	副室長・医学系研究科准教授
工 藤 貴 子	理工学研究院教授
長 安 めぐみ	コーディネーター・男女共同参画推進室講師
荒 川 浩 一	医学系研究科教授
嶋 田 淳 子	保健学研究科教授
関 戸 明 子	教育学部教授
山 延 健	理工学研究院教授
佐 藤 美由紀	生体調節研究所准教授
村 岡 貴 子	理工学研究院助教
木 村 守 平	副室長・総務部総務課長
木 村 義 徳	総務部人事労務課長
福 田 美 則	昭和地区事務部総務課長
清 水 伝次郎	理工学部事務長
森 山 校 子	総務部総務課専門職員

男女共同参画に関するアンケート報告書

2014年3月発行

発行者 国立大学法人群馬大学 男女共同参画推進室
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

印刷所 上武印刷株式会社
〒370-0015 群馬県高崎市島野町890-25



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY